

第83回マチコミリサーチ 『どうしてる？ お子さまの習い事』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『どうしてる？ お子さまの習い事』のアンケートを実施いたしました。

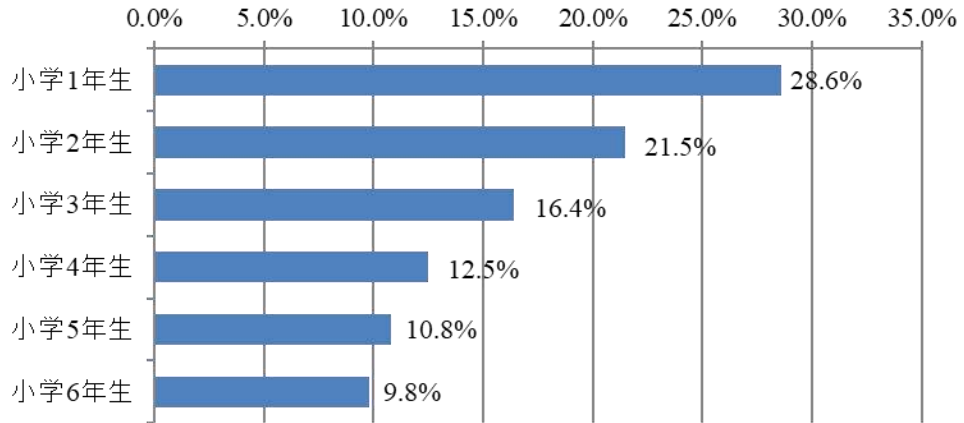
<調査概要>

調査期間	2021年1月15日(金)～1月19日(火)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	全国の小学校のマチコミメール会員
調査対象数	940,008名
有効回答数	16,803件

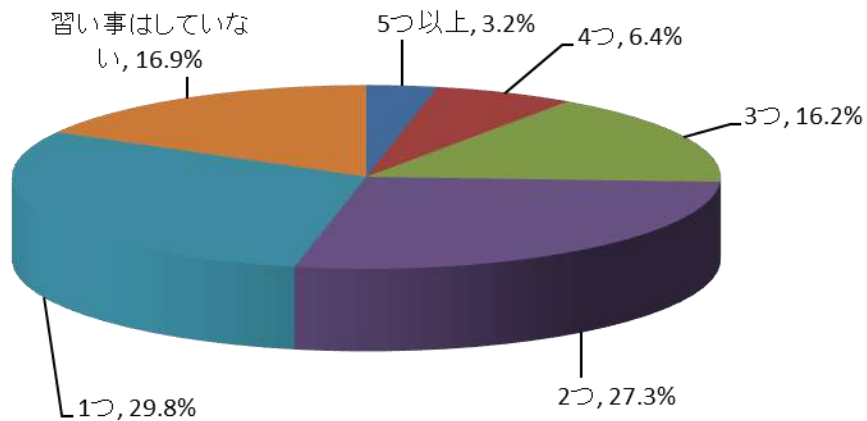
<質問項目>

1	お子さまの学年は？※小学生のお子さまが複数いる方は、一番下の学年をお答えください。
2	質問1のお子さまは、いくつの習い事をしていますか？
3	いつ習い事をしていますか？(複数回答)
4	どんな習い事をしていますか？(複数回答)
5	お子さまの習い事にかかるひと月あたりの費用は？
6	勉強と習い事の両立など、お子さまの習い事で悩んでいることや工夫していることがあれば教えてください。
7	塾や学習教室など、勉強系の習い事を今後増やす予定はありますか？ いつごろから増やしたいと考えているか教えてください。
8	お子さまの中学受験(受検)の予定はありますか？
9	オンライン形式で行われる習い事についてお聞かせください。

質問1: お子さまの学年は? ※小学生のお子さまが複数いる方は、一番下の学年をお答えください。

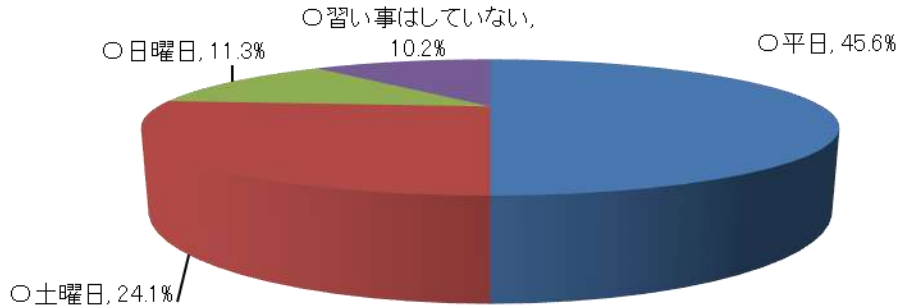


質問2: 質問1のお子さまは、いくつの習い事をしていますか?



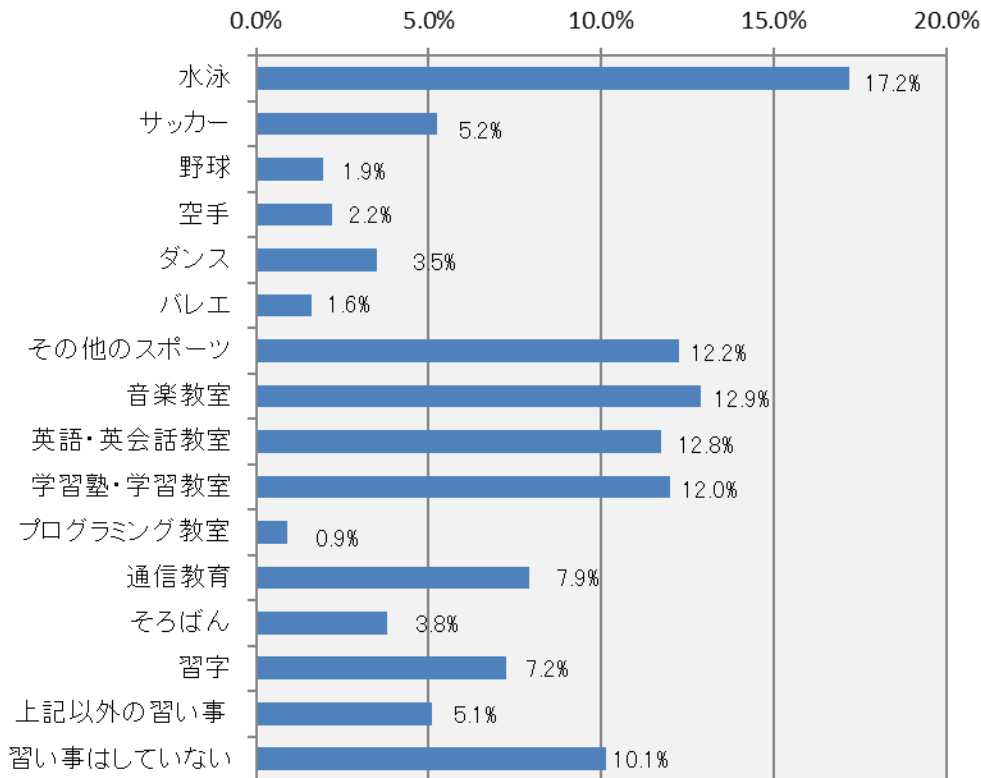
「1つ」、「2つ」の順で多い回答結果となり、約6割を占めました。学習や部活など学校生活もなかなか忙しいため、複数の習い事を掛け持ちするのは難しいのかもしれない。

質問3:いつ習い事をしていますか？(複数回答)



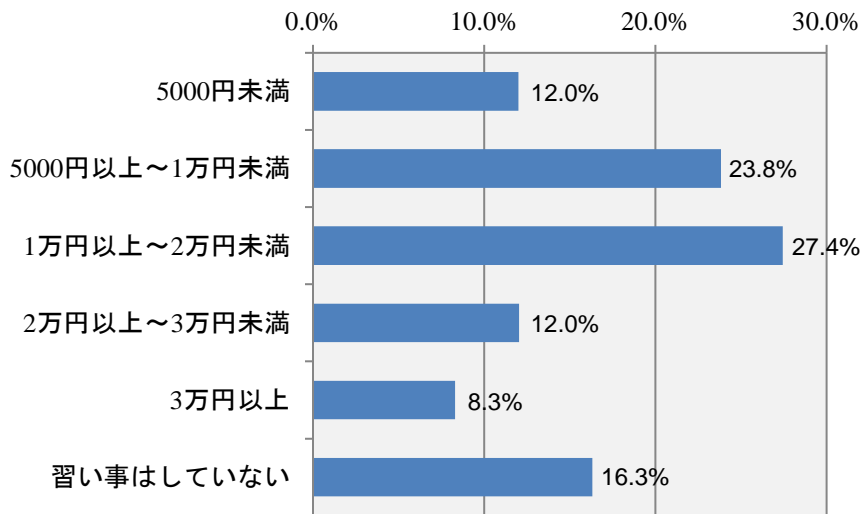
「平日」との回答が最も多く4割を超えました。学校が終わってから習い事へ行く傾向が高いようです。大人も子どもも、休みの日とのメリハリは大切ですね。

質問4:どんな習い事をしていますか？(複数回答)



多い順に、「水泳」「音楽教室」「その他のスポーツ」となりました。お子さまの習い事で根強い人気を誇る水泳を筆頭に、身体を動かすスポーツが人気のよう。幅広い世代に人気の音楽教室も、表現力や感受性を伸ばす習い事として支持されている様子が分かります。

質問5: お子さまの習い事にかかるひと月あたりの費用は？



半数以上の方が、ひと月5000円以上～2万円未満の費用を捻出している結果に。金銭的・時間的にいくつもの習い事をするのが難しい場合、現在の習い事をやめたり、違うものに変えたりなど、試行錯誤が必要になってくるかもしれません。

質問6: 勉強と習い事の両立など、お子さまの習い事で悩んでいることや工夫していることがあれば教えてください。

多かったのは以下のような回答でした。

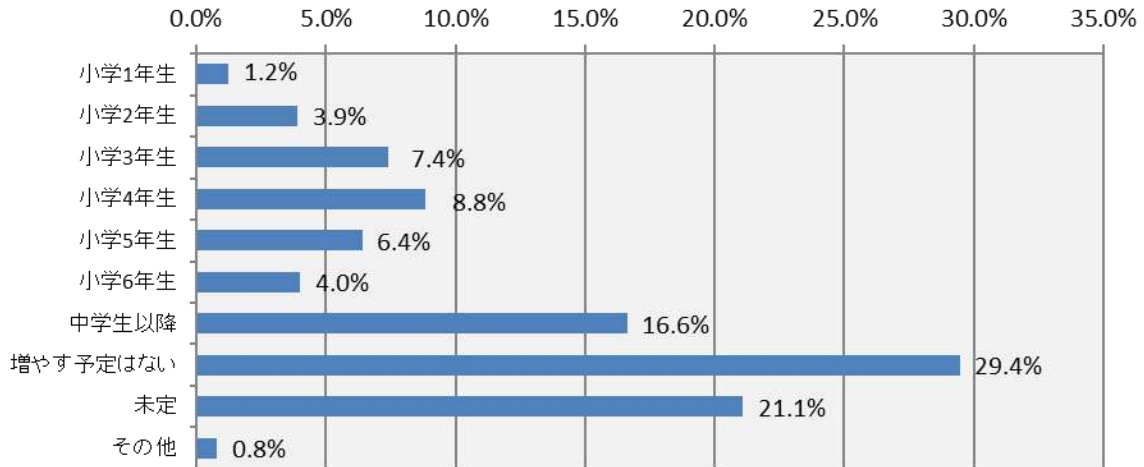
回答数：7,744件

- ・スケジュール管理を工夫している
- ・やる気がでない
- ・宿題が後回しになってしまう

その他にもさまざまな取り組みのコメントが多数挙がりましたので、いくつかご紹介します。

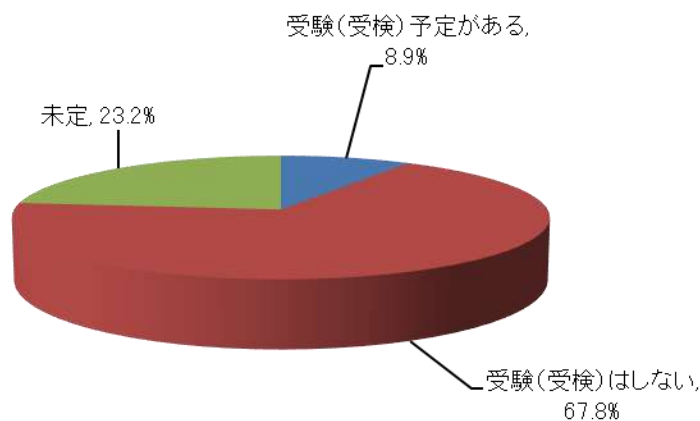
- ・遊ぶ時間が少ないので、可哀想だと思う時もある....
- ・子供の自由時間がしっかり取れるように心がけているので塾には通わせたいがなかなか一歩踏み出せない。
- ・送り迎えの時間がかかる。体力的にキツイ。
- ・習い事の回数が多い（週3日）
- ・成績が悪くなったら辞めさせると約束している。
- ・遊ぶ時間と習い事の練習の時間など時間配分が難しい
- ・勉強の習い事を始めるタイミングかわからない

質問7: 塾や学習教室など、勉強系の習い事を今後増やす予定はありますか？ いつごろから増やしたいと考えているか教えてください。



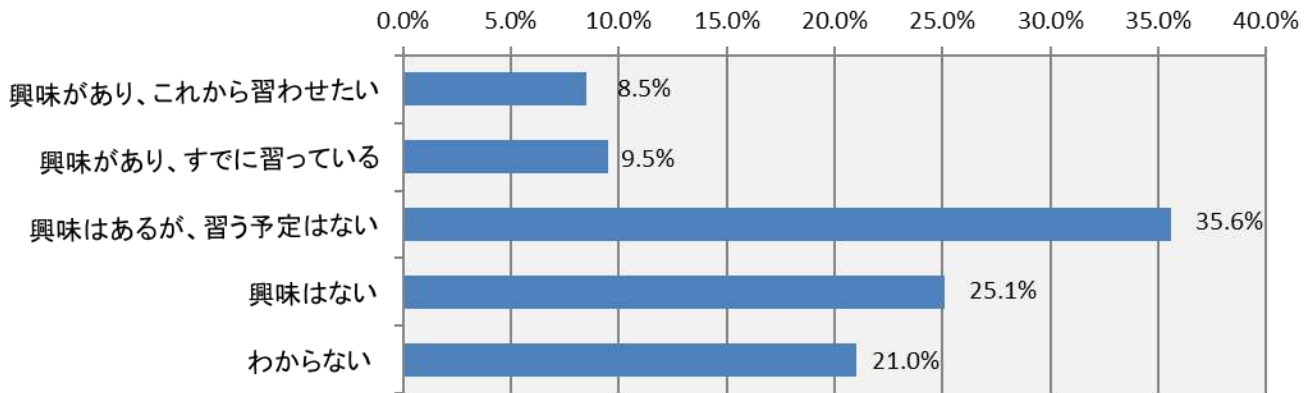
「増やす予定はない」が最も多く、約3割の結果となり、次いで「未定」との回答が約2割となりました。コロナ禍の状況において現在の習い事を精査したとのお声もあり、今後必要な習い事を一度考え直してみるタイミングなのかもしれませんね。

質問8: お子さまの中学受験(受検)の予定はありますか？



「受験(受検)はしない」との回答が7割近くを占めました。今年度は休校もあったので、思うように学習できなかった方も多いのではないのでしょうか。受験(受検)対策ではなくとも、新年度を前に今年度の振り返りや復習をしてみても良いかもしれません。

質問9: オンライン形式で行われる習い事についてお聞かせください。



「興味はあるが、習う予定はない」が最多で3割を超え、次いで「興味はない」との回答が25.1%の結果に。オンライン形式の習い事にメリットを感じる一方で、日常生活にすぐに取り入れることは難しいようです。まだまだオンライン化への取り組みには時間がかかりそうですね。

まとめ

アンケートの結果から、学校と習い事の両立には各ご家庭でかなり工夫されていて、お子さまの様子を見ながら保護者の方もスケジュール管理などを徹底している様子が見えてきました。

例えば、学校や習い事の宿題も効率よく行うため、後回しにならないようお子さまと約束事をつくったり、お子さまの疲れ具合などで平日と休日のスケジュールを調整したりなど、さまざまな取り組みが見受けられ、お子さまの習い事といっても日々親子二人三脚で参加されている状況が明らかとなりました。

オンライン形式の習い事も少しずつ導入されていますが、メリットはありつつもまだまだ主流とはいえない実態のため、引き続きこれまでの形式の習い事に取り組みながら、徐々にオンラインも増えていくような形になりそうです。

また今年度は全国一斉休校もあったことから、例年よりも学習面の遅れに不安を感じている方も多いかと思えます。この先も不透明な状況のため、アンケートには学習系の習い事を始めるかどうか、始めるタイミングをどうしようか、と悩まれているお声も複数見受けられました。

お子さまが楽しんで取り組める習い事を続けて欲しい気持ちはあるものの、学業の遅れが気になってしまうのが本音のようです。

お子さまの習い事選びで悩まれている方は、新学期を機に新しい習い事を検討してみてはいかがでしょうか。